

第2回 海外ボランティア研修企画 平成31年度ハワイ教育研修報告

いしかわともこ
教育部国際交流事業係 石川智子



▲ハワイ大学で修了証を授与され満面の笑顔

目的：看護職の海外ボランティアおよび研修希望者への支援のための企画運営
日時：令和元年10月22日(火)～10月27日(日) <4泊6日>
場所：アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル市 (ハワイ大学シミュレーションセンター他)
参加人数：10名 (英会話研修受講者)
内容：【研修】ハワイ大学 看護学部 シミュレーションセンター (1.5日間)
【特別研修】ハワイ薬剤師協会 前会長 齋藤ひろみ氏による講演およびQ&A (半日間)

昨年に続き、初日からハワイ大学シミュレーションセンターを訪問。Jet Lag (時差ぼけ) にも負けず、センターの概要、医療機器等の説明を受けました。2日目はいよいよ英語で Hands-on Training (実地訓練)。2チームに分かれ、2つのシナリオを体験しました。患者および家族役に扮した俳優さんを相手に「英会話研修」で培った英語を駆使してリアリティに満ちた経験ができました。緊急時の日米の家族対応や医療保険の違い等についても学び、最後は全員、満面の笑顔で修了証を授与されました。3日目はハワイ薬剤師会前会長の齋藤ひろみさんから「日米の医療事情の違い」「ハワイ州のチーム医療における薬剤師の役割・活動内容・看護師との連携」「医療安全対策」「医療訴訟」「看護職の雇用」等のお話を伺いました。質

疑応答も活発でもっとお話しを聞きたいという声がありました。今回の研修で、受講者全員が、語学力の必要性をますます実感し、英語学習継続のモチベーションアップになりました。当協会は今後も「英会話研修」で学んだ看護英語 (INPUT) を OUT PUT (実践) する場を提供していきます。



▲ハワイ薬剤師会
前会長 齋藤ひろみさん
による講演 & Q&A

▲ハワイ大学
シミュレーションセンター研修

第52回 看護学生看護研究学会報告

なりた
学生学会ワーキンググループ 成田みゆき

日時：令和元年11月25日(月) 12:00～16:00
会場：文京シビックセンター
参加者：1,538人
研究発表：口演8題 誌上10題
交流ひろば：2題
展示：「喫煙・受動喫煙の真実を知ろう」東京都看護協会



平成31年度第52回看護学生研究学会は、11月25日文京シビックセンターで開催されました。口演発表8題、いずれの演者も練習を重ね本番に臨んでいて、口演内容をわかりやすく思いを込めて伝えることができていました。発表後には会場や座長から質問が出され、質疑応答も活発に行われました。特別講演

は、太成学院大学の田村玉美先生を講師にお招きし「パラリンピック選手が力を発揮するために-選手の現状と看護師としてできること-」をテーマに障がい者スポーツの歴史、パラリンピックの現状についてご講演いただきました。障害者の健康をサポートするには、専門職として看護の学術的な検証と検討が必要です。多くの看護学生がパラリンピックを観戦し、障がい者、障がい者スポーツを理解してほしいと話される先生に、会場から大きな拍手が上がりました。

